

たび 教えて! 旅 GIRL



Profile

窪 咲子(くぼ さきこ)

1987年生まれ。編集、ライター。出版社を経て、世界一周の旅に出発。トラベルライターとして仕事をしながら世界中を旅する。今までに訪れた国は65カ国。地球の歩き方WEBサイトにて世界各国で出会ったイケメンのストリートスナップを掲載する『世界イケメンハンター』を執筆。帰国後は『マツコの知らない世界』や『アイム冒険少年』などメディアにも出演。著書に『GIRLS TRAVEL』(ダイヤモンド社)、『恋する世界一周』(イカロス出版)。



一人で旅するって孤独で寂しくないですか?一人旅の魅力を教えてください。

「一人旅なんて、孤独で寂しそうだし、自分にはきつと無理だろう」
 一人倍寂しがりやで、いつも誰かの後ろについてふわふわと生きていた私が、まさか一人旅をするようになるなんて思ってもみませんでした。

学生時代に友人と計画していたヨーロッパ旅行。スケジュールがなかなか合わず、諦めかけていた時、「いっそ、ひとりでいっちゃえば?」と母が一言。それまで、旅行は誰かと行くものだと思い込んでいた私にとって、目からウロコでした。果たして私にできるのか?一人で旅行をして楽しいのか?そんな疑問を胸に抱きながら、ついに訪れた旅行の当日。冒険のはじまりでした。ドキドキしながら飛行機に乗り、現地に着いたら入国審査。切符を買い電車に乗って、ホテルにチェックイン…。**「あれ?なんだ。私って案外、一人でも大丈夫なんだ」。**ひとつひとつミッションをクリアしていくたび、小さな自信が積み重なっていきました。

一人で街を歩いていると、普段だったら見逃してしまうような小さな看板やかわいいお店にも気づくことがあります。そんなと



きは、気の向くままに寄り道。誰かと一緒にの旅行も楽しいけれど、相手への気遣いや遠慮も必要なく、**好きな時間に起きて、好きな場所へ行き、好きなもの**

を食べる。一人旅の一番の魅力はその自由さです。



そして、予想外の出来事が次々と起こります。レストランで食事をしているときに隣のテーブルに混ぜてもらうことも多々。飛行機やバスで隣の席になった人に話しかけられ友達になったり、またある時はネパール人のファミリーと仲良くなり、予定を変更し、そのままホームステイをしたこともありました。きつと誰かと一緒にいたら、見ず知らずの人となんて会話すらしなかっただろうと思います。絶景と言われる景色や美味しい食べ物もたくさんありましたが、旅を思い出すとき、決まって頭に浮かぶのは出会った人の顔でした。

もちろん、さみしくなることもあります。しかし、今はインターネットでいつでも、世界中どこにいても家族や友人に連絡を取ることができる便利な時代。サハラ砂漠の街やガラパゴス諸島にだってWi-Fiが飛んでいるんですよ。

一人旅から帰ってくると、なんとも言えない達成感を感じ、そして数日後には、次はどこへ行こうかと考えている自分がいるのです。一人旅を一度経験すると、その魅力から抜け出せなくなってしまうので、要注意(笑)。興味のある方は、まずは近場からはじめてみてはいかがでしょうか?

最近の 旅ニュース

NEWS OF THE TRIP

先日、3連休を使ってベトナムのダナンを訪れました。成田空港から直行便で5時間弱、時差もたった2時間と週末旅行にもぴったりの場所。海沿いのレストランでは新鮮なシーフードをお腹いっぱい食べても2,000円ほど、街中のスパで1時間のマッサージを受けても1,000円ほどと、物価の安いベトナムでは少しのお金で贅沢が可能です。また、おしゃれなスポットが多く、美しいビーチを眺めながら日常を忘れてのんびりと羽をのばすことができます。

世界遺産の街・ホイアンまでも車でたった30分。心癒されるノスタルジックな街並が広がり、ベトナム雑貨やオシャレなカフェに心躍ること間違いなし!



旅ガール窪咲子さんに聞いてみたい旅の疑問を募集中! 詳しくは日本ユースホステル協会 hm@jyh.or.jp まで!